

2015年3月13日

各 位

株式会社栗本鐵工所

「国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業 実証前調査
セミコークスブリケット製造実証事業（モンゴル：国名）」の受託
～モンゴル都市部での環境問題解決支援～

株式会社栗本鐵工所（本社：大阪府大阪市 社長：福井秀明）は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）より、「国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業 実証前調査 セミコークスブリケット製造実証事業（モンゴル：国名）^{*1}」について調査業務を受託しました。

モンゴルでは、首都ウランバートルをはじめ都市部のゲル地域において暖房用の安価な低品位炭の直接燃焼に起因する大気汚染と、それに伴う呼吸器疾患など健康被害の拡大が深刻な問題となっています。モンゴル政府は世界各国と協力の下、かかる大気汚染の発生を抑制させるため様々な解決策を模索しており、なかでも短期的な環境改善が見込まれる無煙燃料であるセミコークスブリケットの製造・普及を促進している。我々はモンゴル既存のセミコークスブリケット製造設備が非効率且つ CO2 排出量が多い点に着目し、日本技術を活用した効率の良い製造設備をモンゴルに建設することで、CO2 排出量の削減をすべく本事業を NEDO に提案し、受託したものです。

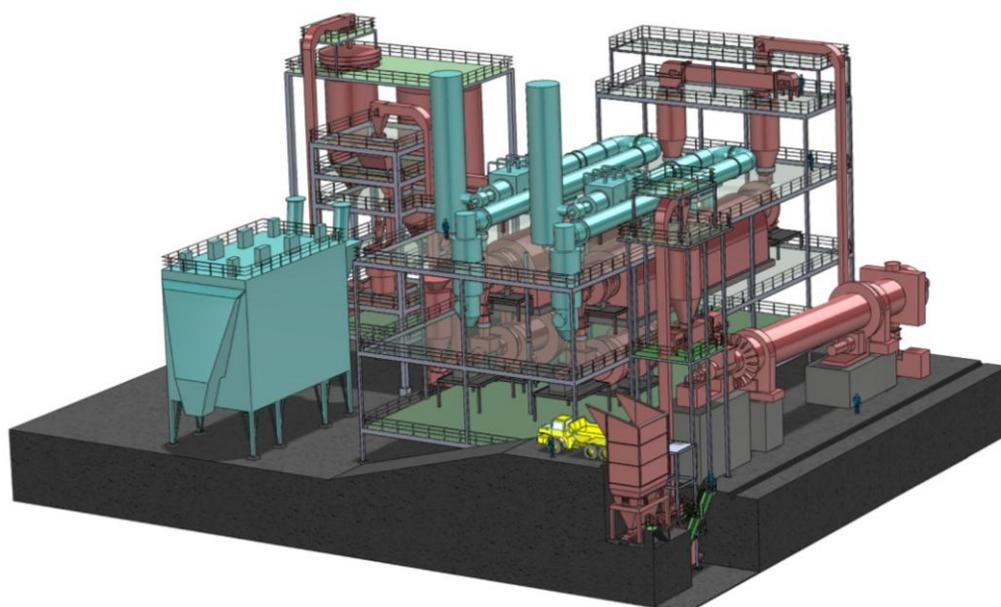
今回受託した業務は、NEDO が推進する「国際関連事業 国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業^{*2}」において、モンゴルに年産 50,000t のセミコークスブリケット製造工場を建設する実証事業へ進む前段階としての調査を実施するものです。セミコークスブリケットとは、モンゴルに豊富に埋蔵する低品位炭を原料とし、日本の優れた乾留等の技術により製造される改質燃料で、石炭を直接燃焼した場合に比べて燃焼に伴う有害物質の排出を大幅に削減でき、大気汚染の改善が見込まれる燃料です。本事業によりモンゴルにおける CO2 排出量削減効果が見込まれるため、2013 年 1 月に日本・モンゴルで合意された二国間オフセットクレジット制度への利用が期待されます。

弊社はプラントエンジニアリング事業を展開しており、またセミコークスブリケット製造プラントの各工程で使用する生産機器のメーカーでもあります。自社技術を導入したプラントエンジニアリングを実施することで、セミコークスブリケットの品質向上が図れるものと確信しております。

モンゴルは日本にとって重要な資源国であるので、日本の技術を用いた協力によりモンゴルにおけるエネルギー効率の向上と環境改善に貢献していきたいと考えます。

【参考資料】

○栗本鐵工所製、セミコークスブリケット生産システム



* 1 : NEDO は、「国際関連事業 国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業」において、株式会社栗本鐵工所が提案した「セミコークスブリケット製造実証事業（モンゴル：国名）」の採択を決定しました。（公表日：2015年3月13日）

* 2 : 本事業は、我が国のエネルギー分野における優れた技術力を強みに、エネルギー技術・システムの有効性、信頼性等を海外で実証することにより当該技術の普及拡大を図り、成長著しい世界のエネルギー関連市場でのビジネスを獲得するとともに、我が国及び世界のエネルギーセキュリティや地球温暖化問題に貢献することを目的として実施します。

【本件に関する問い合わせ】

株式会社栗本鐵工所 総合企画室 管理グループ 06-6538-7732